

すすむ道の駅、都市公園開発

道の駅あいさい及び花はす公園の指定管理者が決まりました

道の駅あいさい及び花はす公園の指定管理者が、Fun Space株式会社に決まりました。

Q 指定期間は。

A イベント開催など民間事業者のノウハウが期待されるため、管理期間を10年に設定した。

Q どの地区に所在する企業が。過去の業績は。

A 東京都新宿区に所在する株式会社だ。長野県、新潟県、岩手県等で道の駅管理運営の実績がある。

Q 選定されなかったグループの名称は公表しないのか。

A 当該グループに不利益が生じる恐れがあるため、差し控える。

Q 今後の指定管理料とその財源内容は。

A 10年間で8億2800万円となり、一般財源を活用する。

Q 農産物確保の工夫の方法は。

A 売れ行き把握や追加納品システムの導入及び農産物出荷の支援として代理配送等の提案がある。

Q 年間イベントなど集客の予定は。

A 従来のイベントに加え、年間を通じ楽しめる新たなイベントの事業計画の提案がある。



▲道の駅 イメージパース

道の駅周辺整備工事（東ゾーン）と道の駅再整備工事の請負変更契約の締結をします

本工事の施工に伴い、工事仕様を変更する必要が生じたため請負契約の変更を行うものです。

変更後の契約金額
周辺整備工事
12億6871万
6900円
道の駅再整備工事
11億110万円

Q 契約変更の理由は。

A 道の駅周辺整備工事では、当初は建設発生土を使用する予定だったが、土質に問題があり、土壌基準に適合するように土壌改良剤を添加するため、また、使用不可の発生土に替えて、造成土の購入をする。

土壌搬入車両の搬入路に鉄板を敷設する。

屋外施設のイルミネーション、キッチンカー等の

イベントに必要な設備の増設。

作業資材の数量見直し。交通誘導員を1カ所減らす。

道の駅再整備工事では、浄化槽などの設置にあたり地盤改良工事が必要となった。

都市公園内の多目的広場に各種イベント時に使用できる電源を設置するため、高圧受電設備の容量を増やす。

24時間トイレ入り口付近の勾配の変更、手すりの追加、滑りにくいタイルに仕様変更。また、新設した駐車場との地上高を考慮して排水溝を追加。

既存施設の営業継続対応のため、物置、ごみ置き場、プロパンガスの移設の仮設工事を行う。

道の駅周辺整備工事（東ゾーン）	
土壌改良剤を添加	約2200万円増
造成土の購入	約7357万円増
鉄板を敷設	約2194万円増
電気設備の増設	約3468万円増
作業資材の数量見直し	約3163万円増
交通誘導員減	約740万円減額

道の駅再整備工事	
地盤改良工事の追加	約912万円増
高圧受電設備（キュービクル）の容量増	約647万円増
24時間トイレ入り口付近の設計変更	約155万円増
既存施設営業継続への対応	約200万円増

▲主な契約変更の項目と金額